

行財政改革推進会議における審議内容(概要)

諮問第6号 「災害に強いまちづくりに向けた町民との協働について」

○開催日

第1回	令和元年10月15日	諮問 事務局説明及び質疑応答
第2回	令和元年12月18日	上下水道課庁舎視察及び諮問事項に係る質疑応答
第3回	令和2年1月30日	諮問事項に係る質疑応答
第4回	令和2年10月2日	答申案の検討及び取りまとめ
第5回	令和2年11月5日	答申案の決定

会議のなかでいただいた意見を以下のとおり項目ごとにまとめました。

○防災意識向上のための方策について

- ハザードマップ・防災マップの充実
 - ・しまい込まないよう下げられる工夫
 - ・各家庭で防災意識の向上が図れる内容とする
 - ・ハザードマップに危険な箇所等の記載も入れる
 - ・各区各班ごとの特徴に合わせた防災マップを作成する
 - ・身近な危険が実感できる視覚化されたマップの作成
- 防災冊子の作成
 - ・興味を持ってもらえるよう、漫画で作成する
 - ・罹災時への対応も記載する
- 防災訓練の充実
 - ・各区で実施している防災訓練等への参加率をあげる
 - ・ハザードマップを活用した地域ぐるみでの定期的な防災訓練の実施
- 広報いなへの掲載
 - ・特集でなく、毎号防災意識の向上のためのページを確保する
 - ・地域の避難場所や地域での防災に関する活動を毎号掲載する
- 防災についてのアンケート実施
 - ・近年の災害を住民の方がどのように捉えどのような意識をもったのかを把握することで、今後の取組みの参考にする
- 災害・被害状況等の周知
 - ・CG等を活用した町内の見慣れた風景で想定される被害のシミュレーション映像を作成することで、災害への意識を高める。
 - ・被災状況のパネル展を実施する
 - ・日頃から危険を意識するよう電柱等に河川が決壊した場合の水位表示をする
- 防災ワークショップ・防災セミナーの開催
 - ・地域の役員だけでなく、地域住民に向けた地区ごとに開催する

○防災に関する対策の役割分担について

- 地域（個人）としての役割
 - ・隣近所での声掛け、安否確認の実施
 - ・自らの行動、役割の確認
- 防災サポーターとして活動する
- 土嚢ステーションの拡充
 - ・土嚢ステーションの設置の拡大
 - ・土嚢ステーションの案内及び在庫の確保
- 自主防災組織加入促進ブックの作成
- 災害の発生状況を反映した各種マップ（防災マップ、洪水ハザードマップ、内水ハザードマップ等）の即時更新と情報の公開
- 防災サポーターの育成
- 避難所を拡充して手段として、空き家を利活用する
- 区民センター等を避難所として活用できるように整備

○地域防災力の向上を目指した自助・共助を育むための仕組・体制作りについて

- ・各住民が区に加入し、コミュニティの醸成をする環境づくり
- ・防災士育成のための補助制度
- ・各地区の防災士による自主防災組織への出前講座の開催
- ・避難所へのファーストミッションボックスの設置
- ・防災ワークショップの開催
- ・災害時の行動計画について、地域に情報の提供とその説明をしてほしい
- ・災害弱者への避難支援の具体化策の構築とその指導や助言をしてほしい
- ・避難行動の支援体制を構築し、各地区に温度差が出ないように指導してほしい

○新型コロナウイルス感染症をはじめとする各種感染症への対応について

- ・具体的には書ききれないので、意見に総論を記載
- ・コロナ対策について、関係機関への要望はしっかりとし、町としての防疫体制の確立に取り組んでほしい

これらの意見が委員から出され、これを集約したものとして答申を作成しました。